

第1版 2024年1月17日

第2版 2025年6月28日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

DPC データおよび JANIS データを用いた新規抗菌薬サーベイランスに基づいた抗菌薬適正使用支援活動の評価

2. 研究責任者

海南病院 薬剤部 垣本光未

3. 研究の概要

抗菌薬を不適切に使用することで薬剤耐性菌が増加する可能性があり、多くの病院では抗菌薬の使用動向を確認しています。抗菌薬の使用動向の指標としてよく使用されるのは DOT (Days of therapy) ですが、得られる情報が限られています。そこで、多くの病院で作成されている DPC データと厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業の検査部門データ（以下、JANIS データ）を用いて、より詳細な情報を得ることができるシステムを開発しました。本研究では、開発したシステムの有効性を検証することを目的として研究を行います。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2019年1月1日から2025年12月31日の間に当院に入院した方。

②使用する試料等

DPC データおよび JANIS データ。

これらのデータには性別や生年月日、病名、使用薬剤や検査実施データ、培養検査結果等の情報が含まれます。

2019年1月から2024年6月の DPC データおよび JANIS データを用いて、医療関連感染症や市中感染症における抗菌薬使用状況や検出菌の動向を可視化します。データの可視化を行った評価を2023年8月～2025年12月の DPC データおよび JANIS データを用いて行います。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 薬剤部 垣本光未

電話：0567-65-2511（代表）